

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要		事業開始年度		昭和49年度～		根拠法令・例規等		社会教育法 備前市立公民館設置条例		
総合計画	大項目	基本目標	03	地域文化と人が輝くまちづくり		問	担当課(室)	中央公民館		
	中項目	基本施策	02	生きがいのあるまちづくり			合	職・氏名	館長代理 森中信行	
	小項目	施策	04	公民館			先	電話	64-1133	
事務事業名		07		地区公民館運営事業		このシート作成に要した時間		2.0 時間		

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	市内13地区に在住の住民		
目的(何のために)	地区住民のニーズを取り入れた特色のある講座、教室等を企画して学習発表の場を提供する。広報、市ホームページを活用して公民館活動を積極的にPRする。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を目的とする。		

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	地区公民館管理運営事業	施設整備を行うことにより、利用者にも最適な生涯学習の場を提供する。	
	地区公民館運営審議会事業	運営審議会は、館長の諮問に応じ、各種事業の企画実施について調査審議する。	
	地区文化祭運営事業	地区住民の文化向上に資することを目的とした事業。	
	地区体育祭運営事業	地区住民の健康の増進を図ることを目的とした事業。	
地区社会体育事業	スポーツ活動を通じて、地域コミュニティの育成を目的とした事業。		

決算額	事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	事業費	千円		44,545	42,596	44,491
	必要人員	人		0.81人	0.84人	0.81人
	事業費	千円		6,539	6,853	6,750
	事業費	千円		51,084	49,449	51,241
	国庫支出金	千円		3,336		
	受益者負担	千円		325	436	245
	繰入金	千円				
	その他(債)	千円		270	345	270
	一般財源	千円		40,614	48,668	50,726
受益者負担比率	%		0.6%	0.9%	0.5%	

結果指標	結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	結果指標量	人	平成23年度に地区公民館(13館)を利用した人数		
	対前年比	%	87.541	76.979	69.805
	活動コスト	円	51,084,000	49,449,000	51,241,000
	単位当たりコスト	円	584	642	734

事業の成果		Check				
成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値	
年間利用者数	目標値(A)	140,000	100,000	100,000	80,000	
	実績値(B)	87,541	76,979	69,805	到達目標値	
	達成率(B/A)	62.53%	76.98%	69.81%	100,000	
成果指標設定の考え方・式や説明						
平成23年度に地区公民館(13地区)を利用した人数。利用者数を数値化することで、公民館のニーズ等の状況を把握する。						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	必要	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価	A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	市民ニーズ	必要	市民・団体等から要望・要請が強い		C
効率性の評価	コスト	手	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価	A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	目的達成度	市民参画度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価	A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い

進行年度(H24年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	各館の職員が定期的に情報交換を行い、新規利用者を開拓できるような講座等の事業を企画して利用者数の増加を図る。

総合評価		Action	
生涯学習の拠点として、文化芸術の振興及び災害時の避難場所となる重要な役割を担っている。しかし、施設の老朽化に伴う維持管理費の増加、また利用者に偏りがある。備前市行財政改革プランに従い、平成23年度中に条例改正を行い、平成24年度より、新たな料金体系で受益者負担を行う。	総合評価	A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い	
		B	

平成25年度の方向性・取組目標		Action				
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了					
取組目標	・日常点検、法定点検等の報告書から、施設整備計画を作成する。光熱水費の削減可能な事項を決め、経費の削減を図る。 ・文化活動を推進する。新規の講座を企画し開設する。民間等との共催事業も検討する。					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストを留意しながら効率性を評価

事業の目的やその成果を数値目標に留意しながら評価